

# センター月だより

〒507-0034 多治見市豊岡町1-55 ヤマカまなびパーク 4F TEL 23-3455 fax 26-8813

## — さりげない声かけが、子どもたちの力に —

3月は、卒業や進級など「大きな節目」の月です。

子どもたちは、新しい生活を楽しみにしながらも、環境の変化や友だちとの関わりについて、うまく言葉にできない不安を感じることがあります。

そんな時、わたしたち大人がかける何気ないひと言が、子どもたちの心をそっと支える力になります。

「今日は寒いね。」「気をつけて帰ってね。」「お疲れさま。」

— 相手の“今”に目を向けたさりげない声かけは、「見てもらえている。」「気にかけてもらえている。」という安心感を生み、張りつめた気持ちをそっとやわらかくほぐしてくれます。こうした日々の小さな積み重ねが、「いざという時に頼れる大人がそばにいる。」という確かな思いにつながっていくことでしょう。

慌ただしい季節だからこそ、一つひとつの言葉に心を込めながら、子どもたちの心にそっと寄り添っていきたいものです。



※AI生成によるイメージ画像です

### ◆指導日誌より

#### 瑞浪地区

- ・とても寒い中での声かけ活動となりましたが、一人の小学生が「行ってきます！」と元気いっぱいの大きな声であいさつを返してくれました。凍えるような朝でしたが、その素直な言葉に励まされ、声かけ活動の大切さをあらためて感じました。(2/12 釜戸)
- ・駅前とときわ通り周辺で声かけ活動を行いました。人通りはやや少なく、出会う方の多くは自転車利用の方でした。「こんばんは」と声をかけましたが、お急ぎの方が多く印象を受けました。今後も一人ひとりの出会いを大切にしながら、丁寧な声かけを心がけていきたいと思えます。(2/13 瑞浪・土岐A)

#### 土岐地区

- ・地域清掃を兼ねた声かけ活動をしましたが、ゴミはあまり落ちておらず、きれいな様子が保たれていて安心しました。人通りはいつもより少なめでしたが、学生たちはあいさつを返してくれたり、自分から声をかけてくれる子もいたりしました。あいさつを交わしながらポケットティッシュを配布し、短い時間ではありましたが、気持ちのよい交流のひとつとなりました。(2/4 特別)
- ・笑顔で声をかけてくれる若者もいて、気持ちのよい時間となりました。短い言葉のやり取りでしたが、地域のつながりの大切さをあらためて感じました。(2/10 泉)

#### 多治見地区

- ・中学はテスト期間中とのことでしたが、ジョギングをしている生徒に出会いました。また、小学4年生はインフルエンザの影響で学級閉鎖中とのことでしたが、寒い中でも、子どもたちは明るいあいさつを交わしながら元気に下校していきました。(2/4 市之倉)
- ・4年生から6年生の下校時刻に合わせて声かけ活動を行いました。明るい「さようなら」の音が響き、私たちも清々しい気持ちになりました。(2/20 滝呂)
- ・暖かくなり、外で元気に遊ぶ子どもたちの姿が増え、こちらの声かけに、笑顔で元気なあいさつを返してくれる姿が多く見られました。(2/21 共栄)

### ◆2月の活動状況

	多治見	瑞浪	土岐
声かけ人数	338	88	661
指導員参加数	62	19	22